

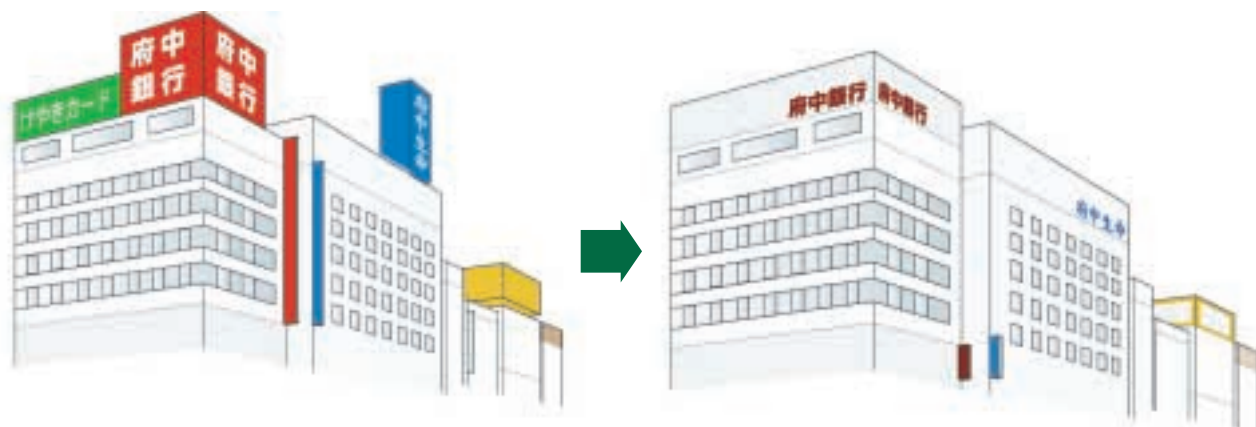
屋上広告物

屋上から突出した広告物は、建物のシルエットを変えてしまったり、連続した建物が描くスカイラインを崩してしまう場合もあり、まち並みの景観にとって好ましくない場合があります。

広告物は、建物と一体になるように工夫し、周囲の建物にも出来る限り揃えるように心掛けるものとします。また、住宅地に近い幹線道路沿いや、旧街道の沿道では屋上広告物の設置は控えるものとします。

【指針】

大きさ	<input type="checkbox"/> 連続するスカイラインを崩さないよう、隣接する建物との調和に配慮し、最小限の大きさ・高さとする。
数量	<input type="checkbox"/> 原則として、建物1棟につき1個とする。
設置位置	<input type="checkbox"/> 原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。 <input type="checkbox"/> 中高層建物には設置しない。
形態	<input type="checkbox"/> 建物と一体的にデザインする。 <input type="checkbox"/> 原則として横長とし、安定感のある形態とする。 <input type="checkbox"/> 圧迫感を与えない形態とする。
表示内容	<input type="checkbox"/> 内容は、自家用とし、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。 (自家用広告物とは、自己の事業又は営業を表示し、自己の事業所、営業所等に掲出されるものです。)
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。 <input type="checkbox"/> 使用色は3色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。 <input type="checkbox"/> 自然やまち並みと調和する色彩とする。
素材	<input type="checkbox"/> 良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 <input type="checkbox"/> 時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。
照明等	<input type="checkbox"/> 夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。 <input type="checkbox"/> 住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。



屋上広告物の配慮例

壁面広告物（窓面の外側を利用した広告物を含む。）

壁面を利用した広告では、建物の壁面全体を広告物に見立てたものも見られます。

また、窓の外側を利用した広告物も含め、窓や壁がつくる建物の表情を隠さないように工夫した方が、まち並み景観の中で好ましく見えます。

設置する建物や周辺とのバランスを大切にし、“揃える”ことを心掛けるものとします。

【指針】

大きさ	<input type="checkbox"/> 建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。 <input type="checkbox"/> 複数設置する場合は、大きさを揃え統一感をもたせる。
数量	<input type="checkbox"/> 原則として、1壁面につき1個とする。
設置位置	<input type="checkbox"/> 建物の表情を見せるように、2階以上の壁面には出来る限り設置を控え、頂部や1階部分などに揃える。 <input type="checkbox"/> 原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。 <input type="checkbox"/> 窓面をふさがないようにする。
形態	<input type="checkbox"/> 原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。 <input type="checkbox"/> 立体的な箱文字や切り文字を使用し、建物と一体的にデザインする。
表示内容	<input type="checkbox"/> 内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。 <input type="checkbox"/> 使用色は3色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。 <input type="checkbox"/> 自然やまち並みと調和する色彩とする。
素材	<input type="checkbox"/> 良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 <input type="checkbox"/> 時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。
照明等	<input type="checkbox"/> 夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。 <input type="checkbox"/> 住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。



壁面広告物の配慮例



立体的な箱文字により、建物と一体的にデザインした例（専門店街KURURU）



地上設置広告物

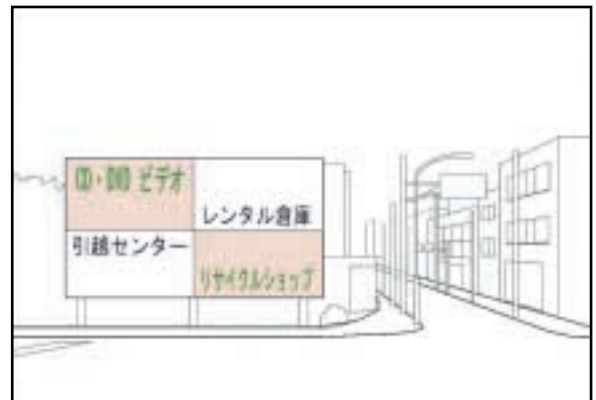
移動式の小規模なスタンドサインや置き看板などが、歩行や自転車通行の妨げになっている場合があり、問題となっています。

見通しや通行を妨げないよう、建物と一体化し、集約します。

比較的敷地に余裕がある場所では、突出広告物などより地上設置広告物の方が、建物がすっきり見えます。建物と合わせたデザインを心掛けるようにします。

【指針】

大きさ	<input type="checkbox"/> 歩行者や自転車の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとする。 <input type="checkbox"/> 建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	<input type="checkbox"/> 原則として、1敷地につき1個とする。
設置位置	<input type="checkbox"/> 壁面の後退部分に設置する場合は、歩行空間を十分に確保できる位置に配置する。
形態	<input type="checkbox"/> 原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。 <input type="checkbox"/> 建物や街並みに合わせたデザインとする。 <input type="checkbox"/> 安定感のある形態とする。
表示内容	<input type="checkbox"/> 内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。
素材	<input type="checkbox"/> 良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 <input type="checkbox"/> 時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。
照明等	<input type="checkbox"/> 夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。 <input type="checkbox"/> 住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。



地上設置広告物の配慮例



大きさを抑え、集約化した地上設置広告物の例（インテリジェントパーク）

突出広告物

突出広告物が建物と比較して大き過ぎたり数が多いと、見通しが遮られ、地上から見たまち並みの表情が乏しくなります。

出来る限り建物やまちの表情を隠さないよう、建物と一体的なものとしたり、壁面広告物を利用します。

設置する建物や周辺とのバランスを大切にし、"揃える"ことを心掛けるものとします。

店舗の場合は、デザインを工夫すると、まちを楽しく演出することができます。

【指針】

大きさ	□建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	□原則として、建物1棟につき1個とする。
設置位置	□近隣の建物の突出広告物と調和を図り、設置位置や突出幅を揃える。 □見通しや交通標識、信号を遮らない設置位置とする。
形態	□原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。 □建物と一体的にデザインする。 □支柱も含め造形や素材を工夫し、周辺のまち並みを演出するよう配慮する。
表示内容	□内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。
表示方法	□表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	□支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。
素材	□良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 □時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。
照明等	□夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。 □住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。



突出広告物の配慮例



素材に配慮し、色彩と大きさを抑えた突出広告（桜通り）



広告旗

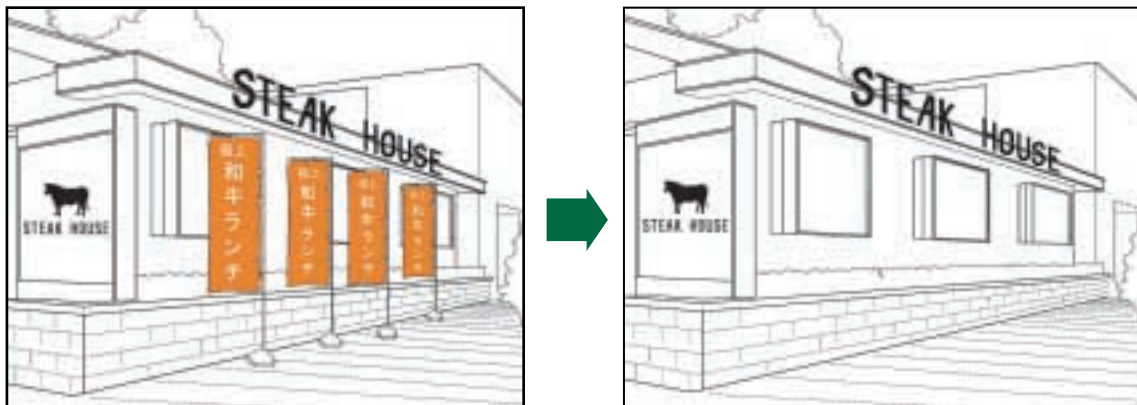
広告旗は、手軽に設置でき、風にはためき良く目立つことから店舗などで多用される広告物です。しかし、手軽な反面、店舗が見えなくなるほど数が多過ぎたり、放置されたままでは景観にとって好ましくありません。

設置期間は、必要な期間内のみとします。

【指針】

大きさ	<input type="checkbox"/> 歩行者や自転車の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとする。 <input type="checkbox"/> 建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	<input type="checkbox"/> 必要最小限の数とする。
設置位置	<input type="checkbox"/> 歩行者や自転車の通行や見通しを妨げないよう、敷地内に設置する。 <input type="checkbox"/> 壁面の後退部分に設置する場合は、歩行空間を十分に確保できる位置に配置する。
形態	<input type="checkbox"/> 支柱も含めて造形や素材を工夫し、周辺のまち並みを演出するよう配慮する。
表示内容	<input type="checkbox"/> 内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。
素材	<input type="checkbox"/> 良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 <input type="checkbox"/> 短期間で劣化しにくい素材を用いる。

ただし、祭事やイベントなど一時的なものを除きます。



広告旗の有・無の例

広告幕

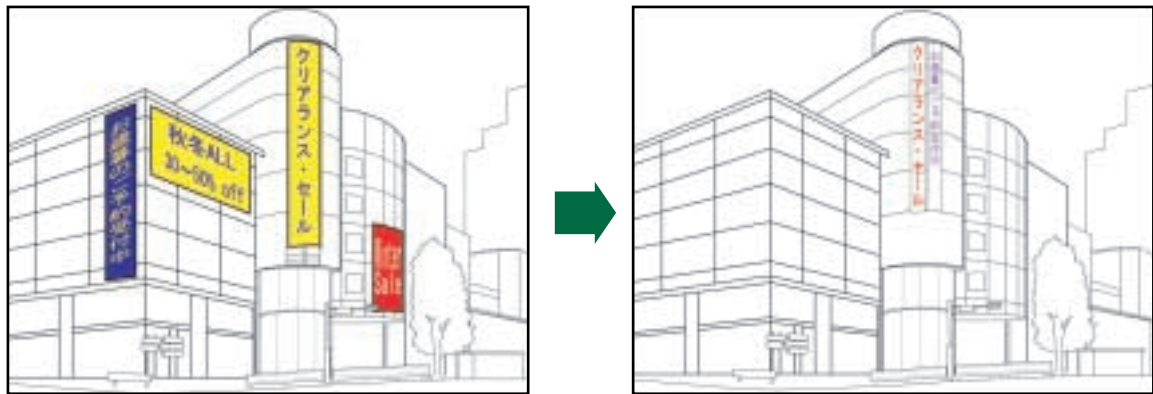
広告幕は、広告旗と同じように短期間のイベント等でビルの壁面を利用する懸垂幕のほか、歴史的まち並みで和風の演出に使用するものなどがあります。景観に影響を与える表示面積が大きなものは、壁面広告物と同様の配慮が必要です。

設置期間は、必要な期間内のみとします。

【指針】

大きさ	□建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	□必要最小限の数とする。
設置位置	□原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地にむけて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。 □建物の表情を見せるよう、窓面をふさがないようにする。
形態	□周辺の良いなまち並みを演出するよう配慮する。
表示内容	□刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。
表示方法	□表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	□視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。 □使用色は3色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。 □自然やまち並みと調和する色彩とする。
素材	□良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 □短期間で劣化しにくい素材を用いる。
照明等	□夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、住宅地の近くでは広告物への照明は避ける。

ただし、祭事やイベントなど一時的なものを除きます。



広告幕の配慮例



和風の演出に使用された広告幕の例（小田原市）

景観アドバイザーの利用にあたって
屋外広告物設置の手順
対象となる屋外広告物
屋外広告物デザインの基本的事項
府中市のまち並み景観と屋外広告物サインの目標
屋外広告物の表示に関する共通事項
屋外広告物の設置に関する共通事項
8 種類別指針
地域分類別指針
色彩計画の配慮事項
再掲出手段と景観広告との関係
屋外広告物条例案の概要



バナー広告

街路灯などに設置された支持棒から吊り下げられるバナー広告は、まちなぎわいづくりや統一感を演出するために利用されます。道路などの公共空間に設置する場合は、設置する団体等が責任を持ち、季節感とまち並みに配慮したデザインとします。

設置期間は、必要な期間内のみとし、色褪せた見苦しいものは改善して、維持管理に努めます。

【指針】

大きさ	<input type="checkbox"/> 建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	<input type="checkbox"/> 必要最小限の数とする。
設置位置	<input type="checkbox"/> 見通しや交通標識、信号を遮らない設置位置とする。
形態	<input type="checkbox"/> 支柱も含めて造形や素材を工夫し、周辺のまち並みを演出するよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 建物やまち並みに合わせたデザインとする。
表示内容	<input type="checkbox"/> 刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。
素材	<input type="checkbox"/> 良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。 <input type="checkbox"/> 短期間で劣化しにくい素材を用いる。
照明等	<input type="checkbox"/> 夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、住宅地の近くでは広告物への照明は避ける。

ただし、祭事やイベントなど一時的なものを除きます。



維持管理に努めたバナー広告の例



まち並みのにぎわいを演出するバナー広告（渋谷区表参道）

はり紙・はり札

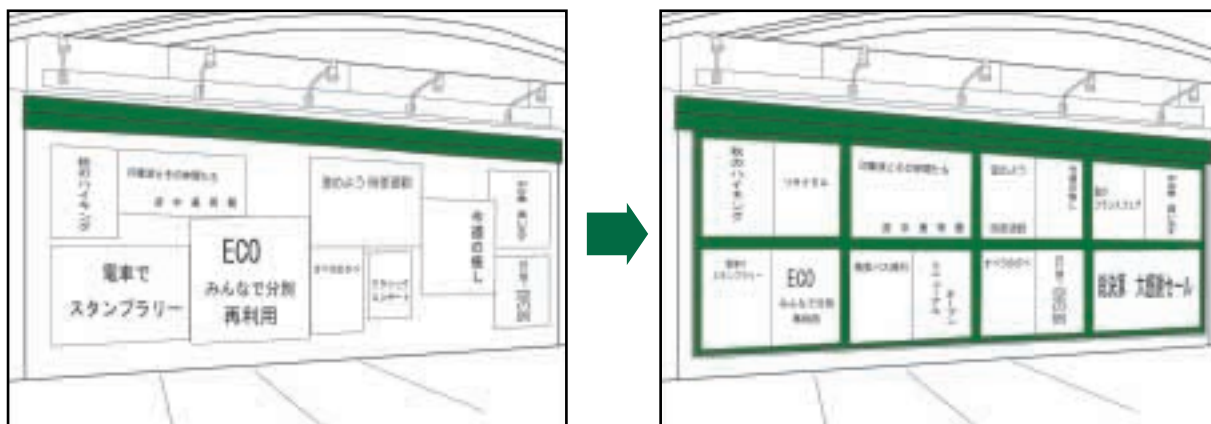
壁や塀などに手軽に設置できるはり紙やはり札は、まち並みの景観には好ましいものではありません。しっかりとしたフレーム（額）や専用掲示板に入れることにより、景観広告としての品格を高めることができます。

設置する場合は、設置する団体等が責任を持って管理し、設置期間は必要な期間内のみとします。

なお、電柱や道路標識、信号機、街路灯、ガードレール、橋、街路樹などへの広告物の表示は禁止されています。

【指針】

大きさ	□建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつまち並みに適した大きさとする。
数量	□必要最小限の数とする。 □同一のものを2枚以上続けて張り付け又はつり下げて設置しない。
設置位置	□フレーム(額)や掲示板等に集約して設置する。
表示内容	□刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。
表示方法	□表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	□地色は、無彩色又は彩度を抑えたものとし、建物や周辺と調和する色彩とする。



フレームを使用したはり紙(ポスター)の例



フレームを使用したポスターの例(伊勢丹府中店)



自動販売機

自動販売機の表面が広告物と同じような表示により、周囲の景観に違和感を与えているものがあります。

近年では、景観や環境意識の高まりを受けて、原色や派手な色彩を避けた白やベージュの自動販売機が好感を持たれています。

【指針】

設置位置	<input type="checkbox"/> 原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。 <input type="checkbox"/> 建物等と一体的となる設置位置とする。
形態	<input type="checkbox"/> 歴史的施設周辺、旧街道、住宅地等では木製の囲いを使用する等、建物やまち並みに合わせたデザインとする。 <input type="checkbox"/> 安定感のある形態とする。
表示内容	<input type="checkbox"/> ブランドや商品名など、最小限の表示内容とする。
表示方法	<input type="checkbox"/> 表示に関する共通事項によるものとする。
色彩	<input type="checkbox"/> 外装色は建物や周辺と調和する色彩とし、歴史的施設周辺、旧街道、住宅地では原色を使用しない。
照明等	<input type="checkbox"/> 夜間景観に配慮した落ち着いたものとし、光源が点滅するものは使用しない。



(自動販売機の配慮例 小田原市)



木製の囲いを使用した事例 (高山市)

車体利用広告物

車体利用広告物（ラッピング広告等）は動き回る広告として高い宣伝効果が期待できる反面、景観に大きな影響があるので、デザインは慎重に行う必要があります。

路線バス等は、駅前や幹線道路のほかに住宅地や自然景観、歴史的景観の地区までつながる路線もあるため、さまざまな地域を通過するときの見え方に配慮することが重要です。

【指針】

- 走る場所の特性を全線にわたって把握し、デザインを検討する。
- 媒体が動くので、小さい絵柄や詳しい表示等を避ける。
- 基調色は彩度を抑え、まちなみと調和する色彩とする。

大型ビジョン(映像等表示装置)

大型ビジョン（映像等表示装置）は、駅前や幹線道路等への設置が増えつつあります。近年では、表示装置の性能向上により、昼間でもはっきりと読み取れる強い光のものとなっています。

大勢が目にする場所に設置されるため、景観への配慮は重要です。

【指針】

- 極度に強い光を放つもの、激しい点滅を伴うものとしなない。
- 歴史的施設、旧街道、住宅地にむけて設置しない。
- 自動車、自転車の運転者の注意を必要以上に引くような広告は控える。

その他

窓面の内側を利用した広告物

窓ガラスの屋内側に貼られている広告物は、窓を広告板として使うことから、窓や壁がつくる建物の表情を容易に崩し、良好な景観に悪影響を与える場合があります。

【指針】

- 原則として、窓面での広告表示はせず、壁面広告や掲示板を利用する。
- やむを得ず表示する場合は、壁面広告物の指針を踏まえる。